出雲
北陵月報

No. 449
令和５年１月３１日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社　印刷

安全・安心な生活を願って

中学校教頭　手　銭　修　司

新年を迎え、令和５年がスタートしました。「一年の計は元旦にあり」といいますが、皆さんの中にも新年の抱負・目標を立てた人もたくさんいることでしょう。しかし、年は新しくなりましたが、学校としては、まだ３学期が残されています。３学期は学年の仕上げの学期です。最後の締めくくりを大切にしてください。

さて今年は卯年です。うさぎはおとなしく、穏やかなイメージがあります。このことから安全の象徴としての意味があるそうです。また肉食動物から狙われる立場で、天敵から逃げやすいように、敵が近づく音をいち早く察知し、素早く走れるように進化しました。そのため耳は長く、足の筋肉は発達し、骨も軽くなっています。よって危機察知能力や危機管理能力に優れた動物といえます。

今現在、私達が生きているこの世の中も、いつ何が起こるかわからない状況となってきました。前回の卯年の２０１１年には、東日本大震災が起こりました。多くの被害者を出し、大きな悲しみが日本中を包みました。現在も南海トラフ大地震がいつ起こってもおかしくない状況であるといえます。

また、新年が明けた後、新型コロナウイルス感染症が広がりを見せ、今第８波の真っ只中にあります。外国に目を向けるとウクライナでは戦争が起こっています。平和な日常が急に悲惨な戦渦に巻き込まれ、苦しんでいる人が大勢います。まさか自分の身に危険が降りかかるとは思ってもいなかったことでしょう。

このような不安定な世の中ですから、うさぎのように危機察知能力、危機管理能力を発揮し、自分自身の安全・安心を守るように日頃から意識しておくことが大切です。

この一年、誰もが安全・安心な生活が送れ、良い一年となるように願っています。

男子バスケットボール部

令和４年度島根県高校新人大会
時　１月13～15日
於　鹿島総合体育館
松江市総合体育館

2年ぶり7回目の県新人戦制覇

２回戦　本校　90－37　出雲商業
準々決勝　本校　106－31　三刀屋
準決勝　本校　76－44　松江東
決　勝　本校　93－52　松江工業
優勝（２年ぶり７回目）
ベスト５　曳野徳二（2-5北湖）
和田守隼人（2-5斐西）

○大会総評

今シーズン最初の県大会が松江市にて開催された。本校は２回戦から出場し、準々決勝まではエントリーメンバー全員が出場と危なげなく勝ち上がった。準決勝の大一番、松江東との試合は、前半硬さが目立ちロースコアの展開となったが、強度を緩めず最後は30点差をつけて快勝した。そして３年連続の決勝進出を果たし、昨年の悔しさをぶつけ松江工業に挑んだ。序盤から堅守速攻と外角からのシュートで圧倒し、２年ぶり７回目の優勝を成し遂げた。その結果、来月、出雲市で開催される中国新人大会への島根県代表と同大会第１シード権を獲得した。これから更に精度が高まるよう、日々の学校生活や練習から多くの学びを蓄え、選手達とともに精進していきたい。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、教職員の皆様、保護者の皆様、全ての皆様に応援していただき感謝申しあげます。次は中国新人大会制覇を目指したいと思います。有難うございました。

（顧問　手島幹人）

女子バスケットボール部

令和４年度島根県高校新人大会
時　１月13～15日
於　松江市総合体育館

１回戦　本校　65－32　隠岐
２回戦　本校　76－74　益田
準々決勝　本校　52－66　松江東
５位決定戦　本校　81－46　大社

○大会総評

どの試合も思うようなプレーができず、悔しい敗戦となった。今回のことを十分に反省し、県総体に向けてこの冬しっかりと練習に励みたい。当日は保護者の皆様から応援いただき、有難うございました。

（顧問　篠原勝利）

卓球部

令和4年度島根県卓球選手権大会
時　12月24・25日
於　カミアリーナ

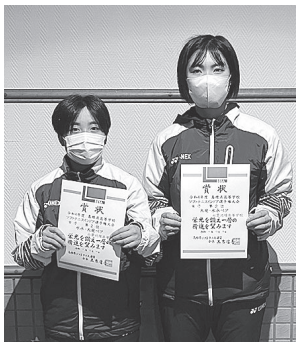
シングルス・ダブルス優勝！

〈男子団体〉
2位　出雲北陵中高A
（杉浦・佐藤・小野・黒田昌）
3位　出雲北陵中高B
（森口・小川・濵田・田中）
〈男子シングルス〉
優勝　佐藤卓斗（2-4北陵）
2位　小野泰和（1-5北陵）
3位　杉浦大和（3-2北陵）
〈男子ダブルス〉
優勝　小川さくら（2-3平野）・黒田昌秀（1-5麹町）組
2位　佐藤卓斗・小野泰和　組
○大会総評
　シングルスとダブルスで上位を独占しながら、団体戦では優勝を逃した。チームワークという点においては、他校よりも劣っているところがあると感じた。今後の活動でチームの「和」を醸成していくとともに、今まで以上に厳しい練習に取り組み、全国大会での上位入賞を目指して頑張っていきたい。（顧問　古瀬泰之）

第32回西日本高校選抜卓球大会
時　1月4・5日
於　カミアリーナ
〈男子団体〉1位リーグ
優勝　島根国体選抜
（本校生徒3名及び他校生2名）
4位　出雲北陵高校
6位　出雲北陵中学校
○大会総評
　新年となり最初の大会であった。高校生は年末年始休まず練習を行った成果もあり、動きに機敏さが見られた。（副顧問　相場翔太）

ソフトテニス部

島根県高等学校ソフトテニス インドア選手権大会
時　12月18日
於　鹿島総合体育館
2位
水永花音（1-5益東）・大庭萌愛（1-4益東）ペア
ベスト8
果瀬暖花（1-4大一）・神田桜奈（2-5浜東）ペア
○大会総評
　決勝戦ではリードした場面からの逆転負けとなった。この経験を今後の練習に生かしていきたい。応援有難うございました。（顧問　金森　快）

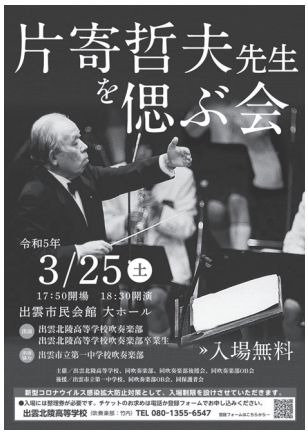

2位の水永（左）・大庭選手（右）

第48回全日本高等学校選抜ソフトテニス大会中国地区予選
時　1月13日～
於　福山通運ローズアリーナ
3位
〈出場選手〉
水永花音・大庭萌愛ペア
木村香夏（1-5斐東）・岡本涼香（1-4浜東）ペア
川角莉子（1-1大社）・森山音羽（1-4大一）ペア
果瀬暖花・神田桜奈ペア
○大会総評
　室内での戦い方を想定しながら準備してきたが、2位リーグ2勝2敗の3位という結果で、全国選抜の出場権を獲得することはできなかった。より大きな舞台で力が発揮できるよう、今後も精進していきたい。応援有難うございました。（顧問　金森　快）

本校吹奏楽部ウインターコンサート延期について（お詫びとご案内）
　昨年の12月25日に予定しておりました本校吹奏楽部ウインターコンサートですが、部員の新型コロナウイルス感染のため、やむなく左記の日程に延期することと致しました。
　楽しみにしていただいていた皆様にはご迷惑をおかけし、誠に申し訳ありませんでした。
　延期した公演では、皆様に喜んでいただけるよう部員一同努力したいと思います。是非ご来場くださいますようお願い申しあげます。
○ご案内延期日時：2月18日(土)
　昼の部　13時20分　開場
　　14時　開演
　夜の部　17時50分　開場
　　18時30分　開演
○会　場：出雲市民会館大ホール
○入場料：無料（整理券は12月開催のものをご利用ください）

お知らせ

片寄哲夫先生を偲ぶ会
　本校吹奏楽部を創部されるとともに、本校吹奏楽部をはじめ、島根県吹奏楽の発展に寄与されました片寄哲夫先生が、昨年4月13日にご逝去されました。
　本校並びに島根県の吹奏楽の黎明期を支え、多方面にわたって多大なご功績をあげられた先生を偲びつつ、ご指導いただいた感謝の意を表すべく、標記演奏会を開催する運びとなりました。
　是非ご来場いただき、ともに生前の先生をお偲びできればと思います。
○日　時：3月25日(土)
　17時50分　開場
　18時30分　開演
○会　場：出雲市民会館大ホール
○入場料：無料　※整理券が必要です



全国高等学校家庭科技術検定

第44回保育技術検定
時　12月24日
〈2級全種目合格者〉奥村琴音（3-2平田）

第56回食物調理技術検定
時　12月26日
〈2級合格者〉内田心花（2-4出三）

令和4年度 島根県児童生徒学芸顕彰式

時　12月22日
於　サンラポーむらくも

【吹奏楽部】
【合唱部】

令和4年度島根県児童生徒学芸顕彰を受賞

昨年に引き続き、学芸顕彰を受賞した。

吹奏楽部は第35回全日本マーチングコンテスト全国大会で銀賞、合唱部は第75回全日本合唱コンクール全国大会で銅賞という結果を収めた。式には、吹奏楽部副部長の村井優奈（3-5華陽）と合唱部部長の安部優斗（3-1斐西）の2名が参加した。

依然コロナ禍が続き、思うように活動ができているわけではないが、右のような結果を得られ、今後の活動の糧となった。次年度は更に良い報告ができるよう、練習に精一杯励んでいきたい。

（合唱部顧問　妹尾一希）

写真部

「1・2年の部」「3年の部」ダブルで上位入賞！ 3年連続15回目となる全国高校総合文化祭出場決定!!

第50回島根県高校写真展審査会
時　12月22日
於　平田高校

今年度はスケジュールの関係で例年より1ヶ月遅い審査会であったが、無事に東京工芸大学による審査会が行われた。本校からは17点出品し、4席に飯塚真子（2-4出三）が入賞、来年度鹿児島県で行われる全国高等学校総合文化祭への出品権を獲得した。「3年の部」では、2席に伊藤美希（3-1陽向）が入賞し、有終の美を飾った。これもひとえに支えてくださっている皆さんのお蔭であり、心より感謝申しあげます。

【1・2年の部】
〈4席〉「放課後」　飯塚真子
【3年の部】
〈2席〉「待って！」　伊藤美希
【奨励賞】
「願い」　磯田明佳里（3-3斐西）
「宿る」　伊藤美希
「追憶」　山岡瑚子（2-1平田）
「白昼夢」　飯塚真子
「未来」　伊藤愛莉（1-6島附）

（顧問　村上　学）

一斉書写

時　1月11日

新年を迎え、3学期最初の学校行事として「一斉書写」を実施した。それぞれが自分自身と向き合い、貴重な時間を過ごすことができたと思う。生徒達の今後の更なる活躍、飛躍を期待している。

創立者 水谷キワ先生 命日墓参

本校創立者水谷キワ先生の命日である1月16日(月)、生徒を代表して、中学新生徒会長藤原希成（中2四絡）ら3名、高校新生徒会長須谷知史（2-4北陵）ら3名でそれぞれ大念寺を訪れ墓参をした。

やや小雨が残る天気であったが、新生徒会の最初の活動として、中学、高等学校生徒会の更なる飛躍と発展を墓前に誓った。

中学校

第3回 校外講師特別講座

時　12月21日
於　中高棟ホール

2学期末保護者会に併せ、荒神谷博物館館長の藤岡大拙先生をお招きし、「出雲の魅力～豊かな自然と歴史文化～」と題して講演会を開催した。藤岡先生はここ出雲の穏やかで美しい自然を様々な作家の言葉を用いて紹介されるとともに荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡、出雲神話や風土記からうかがえる歴史を語ってくださった。また、出雲弁や出雲人の研ぎ澄まされた美意識は、その歴史的過程から生み出された閉鎖的な世界の中で誕生したことを教えてくださった。

講話を通して、改めてふるさと出雲のことを知り、出雲を誇りに思うことができた。

作品と研究

中学校書初め作品より

中学校では、本年も冬休み明けの書写の時間に書初めを実施しました。

今年の目標や抱負、大切にしたい言葉を生徒一人ひとりが決め、行書で真剣に書きました。一年生は初めての行書に慣れないようでしたが、一生懸命取り組みました。各学年の作品の一部を紹介します。

作品①

「決　意」

内田　凛胡（中1今市）

私は今年の言葉を「決意」にしました。この言葉を選んだ理由は、今年は昨年よりも、もっとたくさんの検定を取得したり、得意な教科を更に伸ばしたり、苦手な教科を好きになりたいと決意したからです。この三つの目標を達成するために、これまで以上に勉強する必要があると思い、決めました。また、勉強の質をもっと上げるために、生活面など色々なことでも決意することができればと思います。

作品②

「敬　愛」

宮國　蒼来（中1陽北）

「敬愛」とは、ある人を尊敬し、親しみの心を持つという意味です。私は今まで身近な人に尊敬の念を持つことや親しみを持って接することがあまりありませんでした。だから今年は、今までの分も含めて、身近な人を大切にしたいと思います。自分のことを考えてくれる家族には、特に感謝して生活するようにします。私の知らないところで自分を支えてくれる存在がいることを忘れず、一年を過ごしたいです。

作品③

「努　力」

岩﨑　彩（中2陵湖）

私の今年の目標は「努力」です。努力という熟語には「あることを成し遂げるために、休んだり怠けたりすることなく努め励むこと」という意味があります。私は勉強に対して、休んだり怠けたりして、結果を出せないことがありました。だから、自分の目標の達成に向けて、休んだり怠けたりすることなく、今年は努力を重ねて結果が出せるようにしたいです。

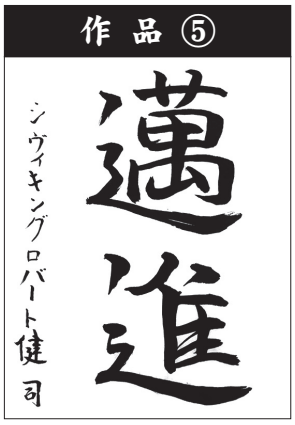
作品④

「継　続」

國分　壮（中2緑四）

この「継続」という言葉にした理由は、昨年は勉強などを途中でやめてしまったことがあったので、今年は、やると決めたことは必ず継続して行いたいと思い、この言葉にしました。今年は色々なことにチャレンジしてみようと思っています。それが上手くいかなかったとしても、諦めずにチャレンジを継続し、この言葉を大切にしようと決めました。

作品⑤



「邁　進」

シヴィキング ロバート 健司（中3今市）

私は、今年大切にしたい言葉を「邁進」にしました。「邁進」とは、元気よく目標に向かって突き進むという意味です。

まだ将来の大きな目標が私にはありませんが、小さな目標がいくつかあります。例えば今なら志望校に合格することです。小さな目標とはいえ、達成するには、目標に向かって突き進む心が必要です。だから、私は「邁進」という言葉を選びました。

作品⑥

「輝　光」

錦織　初（中3富国）

「輝光」。この言葉には、漢字の通り「光り輝く」という意味があります。私は、今年から高校生になります。どの高校に進んでも、その場所で光り輝けるように、という願いを込めてこの言葉にしました。私は、誰からも信頼され、良い影響を与えられるような人になりたいと思っています。そのためには、何事にも丁寧に取り組み、努力することが大切です。「輝光」する高校生活を送るためにも努力を続けたいです。

第50回島根県高校写真展「1・2年の部」4席

今月の1枚

「放課後」

飯塚　真子（2-4出三）